

えんがる

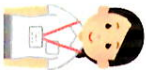
認知症ケアパス

～ 認知症の進行と主な症状・生活のポイント
認知症の進行に合わせた支援やサービスの一例 ～

「認知症ケアパス」は、認知症の進行状況にあわせて、いつ、どこで、どのような医療や介護サービスなどが利用できるかを示したものです。
なお、認知症の状況は個人により異なります。今後、予想される症状や状態の変化の目安として参考にしてください。

認知症の段階		軽度		中等度		重度	
	M C I（軽度認知障害） 認知症の疑い	症状はあっても日常生活は自立		見守りがあれば日常生活は自立		日常生活に手助けや介護が必要	
	日常生活自立度	Ⅰ		Ⅱ a		Ⅲ ~ Ⅲ b	
本人の様子	・ 気になるもの忘れはあるが、金銭管理や買い物、書類作成などを含め、日常生活は自立している	・ たびたび道に迷ったり、買い物や事務、金銭管理などにミスがみられるが、日常生活はほぼ自立している		・ 服薬管理ができない。電話や来客の対応が難しく、一人での留守番が難しくなってきた		・ 日常生活のほとんどに介護が必要になる ・ 会話などのコミュニケーションが難しくなる	
困ったときのポイント	・ まず相談する ・ 不安を和らげる ・ 居場所や仲間を増やす ・ 将来を見据える	・ 見守る人を増やす ・ 介護のサポートを検討する ・ 安全対策を考える ・ 医療のサポートを受ける		・ 介護サービスをを受ける ・ 見守りの体制を充実させる ・ 住まいの環境を整える ・ 悪徳商法などから守る		・ コミュニケーションを工夫する ・ 介護と看護を充実させる ・ 看取りに備える（生活の場の検討など）	
相談したい 認知症に関する相談窓口	地域包括支援センター / 在宅介護支援センター / 認知症初期集中支援チーム / ケアマネジャー（介護支援専門員） / 認知症地域支援推進員 町の相談窓口（遠軽町民生部保健福祉課 ・ 各支所地域住民課）						
医療について	かかりつけ医 / かかりつけ歯科医 / かかりつけ薬局 / 認知症サポーター医 / 精神科 / 脳神経外科 / もの忘れ外来 / 認知症疾患医療センター 訪問看護 / 訪問診療 / 訪問歯科診療 / 居宅療養管理指導						
誰かと交流したい 介護予防 家族支援	老人クラブ / 高齢者大学 / サークル活動等						
	高齢者センター / 老人憩いの家（生田原） / 老人福祉センター（丸瀬布） / ふれあいセンター（白滝）						
	介護予防教室	通所介護（デイサービス） / 通所リハビリ（デイケア）					
	認知症カフェ / 介護者の会 / 地域サロン						
健康な体を維持したい 介護予防 家族支援	老人クラブ / 地域サロン / 高齢者大学 / サークル活動等						
	高齢者センター / 老人憩いの家（生田原） / 老人福祉センター（丸瀬布） / ふれあいセンター（白滝）						
	介護予防教室	通所介護（デイサービス） / 通所リハビリ（デイケア）					
	健康診断						
困ったときのお手伝い 安否確認・見守り 生活支援・身体介護	配食サービス / 除雪サービス / シルバー人材センター						
	外出支援サービス						
	民生委員の見守り・訪問 / 民間の配食サービスなど / 民間の見守りサービス						
	緊急通報システム						
	民間の移動支援サービス / 民間の訪問理容サービス / 民間の宅配サービス						
	通所サービス（デイケア・デイサービス） / 訪問介護（ホームヘルパー） / 短期入所生活介護・短期入所療養介護（ショートステイ）						
	小規模多機能型居宅介護（通所、訪問、宿泊）						
	日常生活自立支援事業 / 成年後見制度（任意後見制度・法定後見制度）						
	在宅介護用品支給事業						
	在宅高齢者訪問理髪事業						
	自宅（住宅改修・福祉用具貸与・特定福祉用具購入）						
	高齢者向け住宅（有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅等）						
高齢者総合生活福祉センター / 高齢者共同生活支援施設							
住まい・施設について	養護老人ホーム	認知症対応型共同生活介護（グループホーム） / 介護老人保健施設 / 介護医療院		特別養護老人ホーム			

認知症の進行を防ぐためには、持病のコントロールが重要です！
通院・内服を中断しないようにしましょう！



赤字 … 介護保険・総合事業のサービス

緑字 … 介護認定が必要なサービス

黒字 … 介護保険外のサービス

○ 認知症は、早期発見と早期治療が大切な病気です。正しく診断してもらい、適切な治療をはじめ、適切な生活で異変を感じたら、なるべく早く医療機関を受診しましょう。

○ 認知症の症状や状態はそれぞれ違うので、まずは本人のことを良く知っている、かかりつけ医に相談してみるとよいでしょう。

○ 受診のときには、普段の本人の状況を知っている方が付き添って行きましょう。気になる点や、普段の状況について、まとめていくと良いです。裏面の＜受診の前に整理しておきたいこと＞を参照ください。